

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 6 No 5

5 8 号

平成10年 5月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

外来で気付いたこと6

院長

またまた「外来で気付いたこと6」、としてお話してみましよう。

小学校に入ると、自分のことは自分でできなければなりません。これもしつけが大切と考えて、診察の時に「どうしたの？」本人に聞きます。するとどうでしょう。ほとんどのお母さんは、子どもが話そうとしているのに、それを遮るように話し始めるのです。小生も時にむっとして「お母さんに聞いていませんよ」と、反論してしまいます。そしてこんな子供たちの多くは、話をする相手（小生）ではなく、お母さんの顔をを見ながら話すです。

これは、なぜなのでしょう？。おそらく赤ちゃんのうちから、子どもが可愛くて可愛く大切に育ててきたのでしょう。子どもが望むことを親が先回りして判断し、いろいろなことをしてあげていたはずですが、これが続くと今度は、子どもがお母さんを必要以上に頼りすぎる関係が出来てしまったのに違いありません。今は少子化の時代です。子どもの数が少なければ、親と子どもの接触が濃厚になり、甘やかしすぎたり過干渉になったすることは仕方がないことかもしれません。放任や断絶と比べれば、まだこちらの方がましだとは思っています。しかしそれも年齢によります。まず歩行をし断乳をすることによって、独り立ちの第一歩が始まります。まして幼稚園に入り脂 この関係を学び、一般的に独り立ちと言えるのは義務教育が始まる頃です。この時期までには、独り立ちできるようにしていかなければなりません。

こういう子どもが、親の対応が同じまま成長したらどうなるのでしょうか。教育委員会の仕事で大学の先生と話す機会がありました。先生いわく「今は大学生も同じで、話を聞くと親の顔を見ながら話す人もいます」。また最近の若い人は、「言われた仕事はきちんとできるが、自らの発想ですることはかなり苦手だ」という話も聞きます。これも小さい頃の親の接し方が、大人になってからも影響し

ているのかもしれませんが。最近では青少年の犯罪が増加し、問題になっています。皆さんもいろいろなニュースで報道されるので、身近に感じているかもしれません。その犯罪の原因のすべてではありませんが、同じように幼児期の親対応の仕方や体験が関係していると考えられています。

こう考えてしまうと子育てとは大変なことだと気付かれたことでしょうか。実際子育てに限らず、人は誰でも今を見て、今を感じて生きています。これから先のことに思いをはせるなどということは、現在の子育ての不安や心配と比べると、無理なことは百も承知です。子育ての結果はずっと先に証明されるものです。小生も子育ての評論家も、自分の子育てについて自信をもって答えることは難しいものです。また「個性とはしつけとは」で書いたように、子育てにも意識的な部分と無意識の部分があるわけです。つまり子育てという言葉の中には、子育ての部分と子育ての部分があるということです。そういう二つの部分を上手にコントロールして子育てをしていくということは、かなり難しいことです。結果は今でない、難しいとなると、子育てを放棄したい気分になるかもしれません。しかし待ってください。子どもを作った以上、このことは当然覚悟があったはずですが、小生が言いたいのは、育児書を含めこういう話、ほかのお母さんの経験談、おじいちゃんやおばあちゃんの話に触れることが大切なことです。話や経験の中から自分で一つの方法論をもって子育てをすること、それが大切なことです。「三つ子の魂百までも」という言葉があります。こんな言葉も覚えておきましょう。要は親御さん達も勉強（学習とは違います）し、今だけでなく将来を見据えて自信をもって子どもに接してあげてください。



新しいスタッフが入りました。

先日事務スタッフの加藤君が結婚し、6月で退職することになりました。新しいスタッフが入りました。『にゅうい』君です従来のスタッフ同様、よろしくお願ひします。はじめまして。4月から受付事務をしています乳井です。まだまだ未熟な私ですが、先輩やお母さん方にいろいろ学び、日々勉強していきたいと思っています。明るくあったかい雰囲気のかわむらこどもクリニックで、一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。 乳井 和美

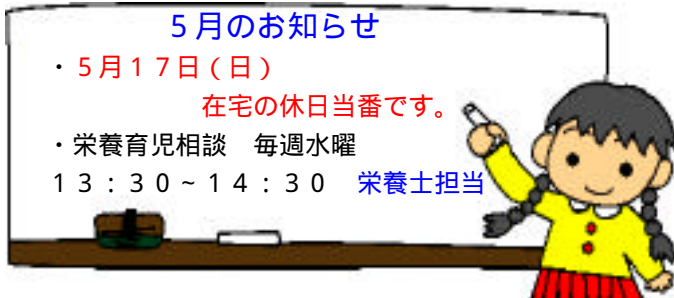
5月のお知らせ

・ 5月17日(日)

在宅の休日当番です。

・ 栄養育児相談 毎週水曜

13:30~14:30 栄養士担当



読者の広場

お陰様で、『お母さんクラブ』始めることになりました。参加の確認を再度行って、現在会員数は50名程度になりました。これからも会員のお母さん方の協力も必要になると思いますが、よろしくお願いたします。

第1回の集まりは、5月21日(木)14時から福沢市民センターです。

先月号の新聞の内容に対する投書をいただいたので、紹介します。「前略、今回のクリニックNEWSを拝見し、お便りします。4月から診療報酬が改定になり、その内容をクリニックNEWSを読みよく分かりました。このところ、保険本人の負担額が2割に増えるなど、家計で医療費の占める割合が高くなってきました。特に今月は、主人が体調を悪くして通院していましたし、私も包丁で指の先を少し切り落としてしまったりと(お恥ずかしい話ですが...)、医療費がかさみました。先生のお話にもありましたが、今後風邪では保険が利かなくなるということを経験して、心配していました。私は性格的に自分の信頼したお医者様に見ていただくと、風邪であれ何であれ、気持ちが安心するせいか、とってもよくなるんです。病は気から...ということわざは私のためにあると思っています。特に子供の事となれば、言葉が言えない頃はどこが痛いのかどう具合が悪いのかは、なかなか分からないので、やっぱり先生にみていただくのが一番だと思っています。お年寄りの方もそうですね。風邪で保険が利かなくなるような事になれば、もう少し様子を見ようと思っている間に、手遅れになったら大変です。風邪は万病のもとですものね。今まで政治に、私一人が反対してもどうにもならないと思っていましたが、自分の将来のこと。それではだめだと思い直しました。クリニックNEWSを読み、共感した方が大勢いらっしゃると思っています。(泉区のTさん)」。NEWSを出して、このような反響はうれしいことです。本当にちゃんと読んでもらっているということが伝わってきて、励みになります。

最近投書をいただいた中や外来で、当院のホームページのことを聞かれます。またホームページを見たという受診した患者さんや電子メールで相談する患者さんもいます。インターネットしている方は、一度ごらんになってください。電子メールで、投書や相談も受け付けています。

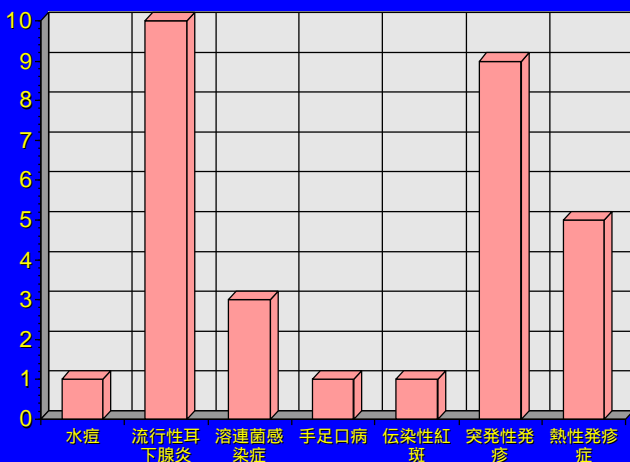
ホームページ <http://www.ifnet.or.jp/~kazu.k/>

アクセスしてみてください。

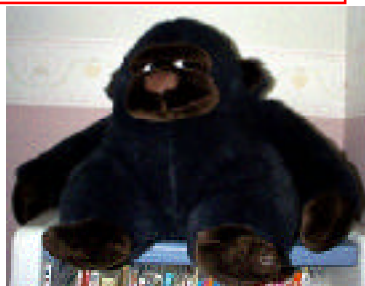
電子メール kazu.k@man.ifnet.or.jp



4月の感染症の集計



報告が遅れましたが、宮城野区の後藤さんからゴリラのぬいぐるみ、宮城野区の宮西さんからはブロックを頂きました。また保育園の愛児園さんからは絵本をたくさん頂きました。



水痘はかなり減少していますが、おたふくは変わらず多く見られています。夏に多く見られる手足口病等が見られ始めました。発疹の出る、ウイルス性発疹症も夏に多く見られる病気の一つです。喘息が多く見られますが、例年ほどではありません。気管支炎や肺炎で熱が続くタイプも見られています。

ポリオ予防接種のお知らせ

対象者 第1回 平成9年7月1日~12月31日生れの児

第2回 平成9年10月に1回目の投与を受けた児

地区名	実施月日	曜日	実施区域	会場
青葉区	5月12日	火	旭ヶ丘、上杉	青葉区保健福祉センター
	13日	水	荒巻、東二	青葉区保健福祉センター
宮城野区	5月6日	水	幸町、宮城野	区役所6階ホール
	7日	木	新田	区役所6階ホール
	8日	金	原町	区役所6階ホール
太白区	5月12日	火	長町南、東長町	区役所5階ホール
	13日	水	八本松	区役所5階ホール
	14日	木	西多賀	区役所5階ホール
	15日	金	向山	区役所5階ホール
泉区	5月19日	火	秋保管内	秋保総合支所
	5月6日	水	寺岡	区役所東庁舎5階
	7日	木	長命ヶ丘	区役所東庁舎5階

受付時間は午後1時30分~3時です(ただし泉区は2時30分まで)。左の表は5月以降のもので、まだ受けていない方は、どこでも(たとえば太白区役所)可能です。出来るだけ受けるようにしましょう。

編集後記

4月の初めに首を傷めました。原因ははっきり分かりませんが、筋力低下や働き過ぎが原因かもしれません。痛みのため対応が悪いことがあったらおわびします。最近は少しよいようです。発行が少し遅れました。

